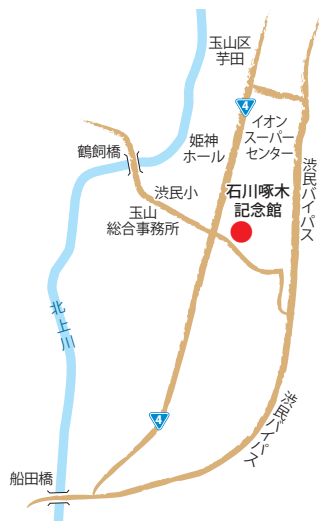


今年は啄木生誕130年、 記念館も建設30年の節目を迎えます



石川啄木の人となり、文学についての顕彰と資料収集、保存、情報提供を目的に、生育の地である旧玉山村渋民に昭和45年(1970)に開館した。現在の建物は生誕100年を記念して昭和61年(1986)にオープンしたもの。館内展示は、(1)啄木文学の原点(渋民と幼少時代)、(2)文学へのめばえ(盛岡中学時代)、(3)あこがれの世界(上京・盛岡新婚時代)、(4)「林中」の生活(渋民・代用教員時代)、(5)漂泊の旅(北海道漂泊時代)、(6)東京時代、と啄木の人生をたどる流れで構成し、直筆書簡、ノート、日誌のほか、遺品、写真パネル、映像、音響等を展示している。敷地内には啄木が代用教員を務めた旧渋民尋常高等小学校(明治17年建設)、止宿先であった江戸時代後期の建物である旧齊藤家が移築されており、当時の雰囲気は今に伝えている。